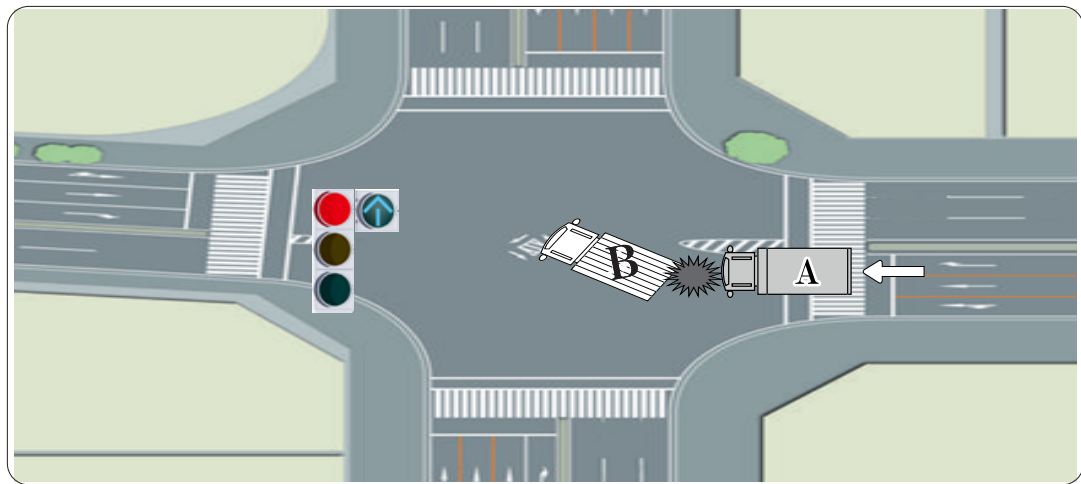


職場における交通安全指導

Part 132

右矢印信号が表示された交差点で右折の際、転回しようとした前車に追突



事故の概要

- 事故の当事者
当事者A（トレーラー）：50代、男性
当事者B（2tトラック）：30代、男性
- 被害状況
A：右足打撲、車両前部凹損
B：頸椎捻挫、腰部打撲、車両後部凹損
- 道路状況
片側二車線の県道

事故状況

Aは、トレーラー乗務歴30年のベテランドライバーである。
事故当日は、早朝から乗務し、コンテナの搬送を終え、帰路の途中に事故を起こした。
事故現場は、片側三車線の県道が交わる交差点で、他の運送会社の車庫や、倉庫が近くに位置することから、普段からトラックの通行量が多い交通の頻繁な道路であった。

Aは、事故現場を右折するため、右側車線を走行していたが、早朝からの乗務で早く車庫に戻りたいと思い、急ぎの心理状態で走行していた。

その日は、交通量は多いが比較的スムーズに流れていたことから、Aはスピードを上げて前車に追従するような状態で交差点に接近していた。

交差点付近に差し掛かった際、交差点の信号が右矢印の信号に変わったことから、矢印信号が表示されているうちに右折してしまおうと、減速をあまりせずに前車に続いて右折態勢に入った。交差点内に差し掛かったところで、転回のために急減速したBに即応できずに追突した。

事故の原因

事故の原因は、Aが交差点で右折の際、前車も右折と思い込み、転回するという予測をしておらず、Bとの間に適切な車間距離を確保し、十分に減速していなかったことです。

安全指導

交差点で事故が発生すると、他の車や交通弱者を巻き込んで重大なものに発展する危険があります。交差点事故を防ぐには、以下の点を意識しましょう。

①危険を予測する

交差点は最も交通事故が多い場所とされています。特に右左折する際は、交通事故に結びつく様々な危険要因が存在することから、最大限の注意を払い、慎重に走行するべきでした。

Aは交差点を右折する際、Bに続き急いで右折をすることに気を奪われ、徐行することなく一気にBへ接近しました。本来であれば、Bの万が一の動静に気を配り、余裕のある車間距離を確保し、確実に徐行する必要がありました。

トラック運転者は、交差点通行時の危険性を十分認識し、視野を広く取り、多くの情報を認識する必要があります。右折の際は前車に追従するのではなく、確実に徐行し、場合によっては一時停止するなど、安全を自分の目で確認してから右折することが必要です。

②気の緩みや急ぎの心理に注意する

ドライバーが仕事の緊張状態から解放されたとき、気の緩みから油断が生じ、事故に繋がることが少なくありません。

仕事を終えた安堵感や、長時間の乗務による疲労で、早く帰りたいとの思いから車庫を間近にして警戒感が希薄になったとも考えられます。油断から注意が散漫にならないように、帰庫するまで緊張感を持つことが必要です。

③ベテランドライバーの自覚を持つ

Aは、30年もの長い運転歴の中で、トレーラー中心の運転業務を行っていたことから、運転技術に相当の自信を持っていました。

しかし、Aのようにベテランドライバーとはいえ、歳を重ねる毎に運動能力や判断能力等の低下は否めません。咄嗟の判断や、操作は難しくなりますので、ドライバーはそのことを自覚し、適性診断等のチェックを行い、適切な体調の維持・管理に努め、身体機能が以前と比べてどのように変化したのか認識することが必要です。

④道路交通法を理解する

公道を走行するときのルールを定めているのが道路交通法です。道路交通法は時代の変化に合わせて改正されています。法律であるので「改正されたことは知らなかった」では済まされません。

矢印信号に関する規定の整備として、平成24年4月1日より、交差点で右折を可能とする青色の矢印信号が表示されている場合は、右折に加えて、転回（Uターン）もできるようになっています。（※ただし、転回禁止の交差点を除く。あらかじめ、道路標識や路面の道路標示で、その場所が転回禁止でないか確認しましょう。）

運転免許証を所持している限り、こうした法改正を知らなかったということは、認められません。運転する資格があるということは、安全に運転できる技術に加え、最新の道路交通法に精通し、身につけている必要があります。

Aのようなベテランドライバーこそ、免許取得から時間が経過しているため、道路交通法の改正に目を向ける必要があります。職業ドライバーとして、常に最新の情報を得て、知識を豊富にすることを心掛けましょう。

交差点を通行する際は、重大事故の危険性が極めて高いことから、慎重な運転が要求されます。長年の運転経験からくる慢心や過信が注意力を欠かせていたのかもしれない。ベテランドライバーといえども、常に最悪の状況を想定し、交差点通行時は特段の注意を払い運転しましょう。

